

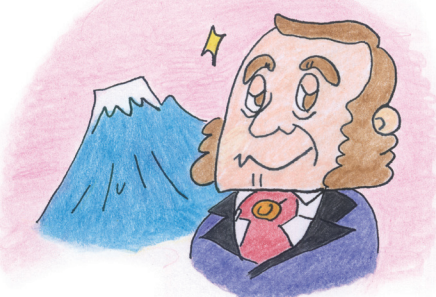
ラザフォード・オールコック

Rutherford Alcock



外国人初の富士登山

ラザフォード・オールコックは、初めて富士登山をした外国人です。
現在の神奈川県にあるイギリス領事館に初代公使(外交官)として派遣されていた1860年、富士登山を計画しました。



当時、外国人が襲われる事件が起こるなど国内が不安定であったため、初めは幕府に強く反対されましたが、粘り強く交渉を重ね、ついに富士登山を認めてもらいました。

オールコックや随行者は、富士登山の様子を日記(オールコック自著「大君の都(The Capital of The Tycoon)」)などに残し、富士山の美しさを世界に発信しました。

毎年7月10日に行われる富士山お山開きには、イギリス大使館から来賓を招き交流を続けています。



オールコックの富士登山日記

1日目 オールコックは、30頭以上の馬と100人ほどの行列を引き連れて、領事館から東海道を進みました。



3 富士登山の拠点として栄える村山に向かいました。



村山は、富士山で修行する山伏(修験者)の集落です

標高 490m

6日目 吉原(富士市)を通り、大宮(浅間大社境内の寺)で休憩をとりました。

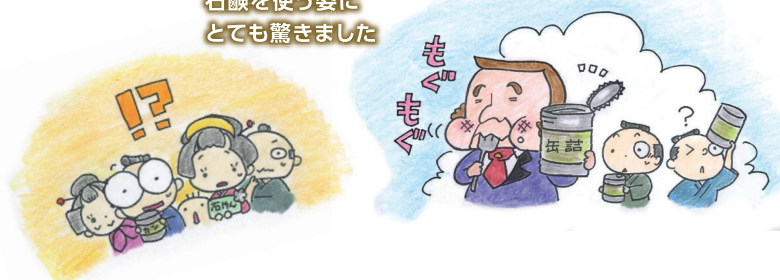
大宮には、外国人を一目見ようと、たくさんの人が集まりました



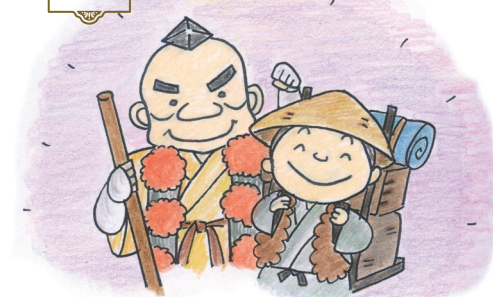
4 一行は、大鏡坊という宿坊に宿泊し、心のこもったおもてなしを受けました。



村山の人たちは、一行が缶詰を食べたり、石鹸を使う姿にとっても驚きました



7日目 案内役の山伏と荷物役の強力が加わりました。



6 中宮八幡堂(現在の栗倉付近)で馬を降り、ここから歩きました。



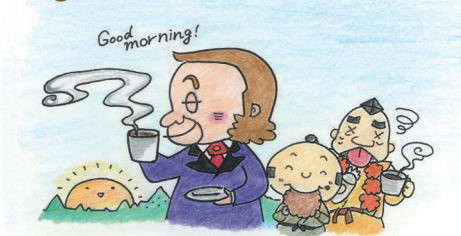
標高 1,300m

7 6合目(現在の新7合目)の小屋で、蚤と寒さに苦しみながら、一夜を過ごしました。



標高 2,780m

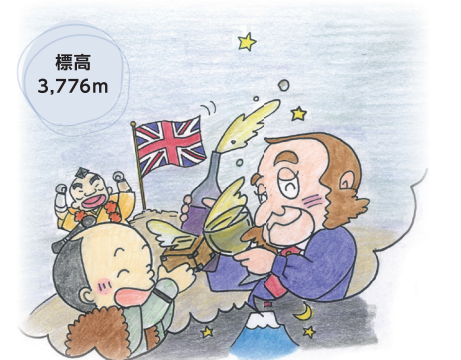
8日目 コーヒーとビスケットで朝食を済ませ、日の出とともに出発しました。



9 空気の薄さと、足場の悪さに苦しみながら登り、8時間かかって、ようやく山頂にたどり着きました。



10 山頂では、英国旗を掲げ、万年雪で冷やしたシャンパンで乾杯をしました。

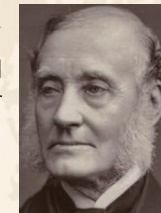


標高 3,776m

絵 Y.N

オールコックの記念碑

オールコックを称えるため、市内には記念碑が建てられています。



富士山五合目富士宮口

平成4年、市は市制50周年を記念して作製しました。



村山浅間神社

平成22年、市はオールコックの富士登山から150周年を記念して作製しました。



平成26年、オールコック脚踵彰会により、富士山の世界遺産登録を記念して作製されました。

